

2025年3月期 決算説明会資料



不二ラテックス株式会社

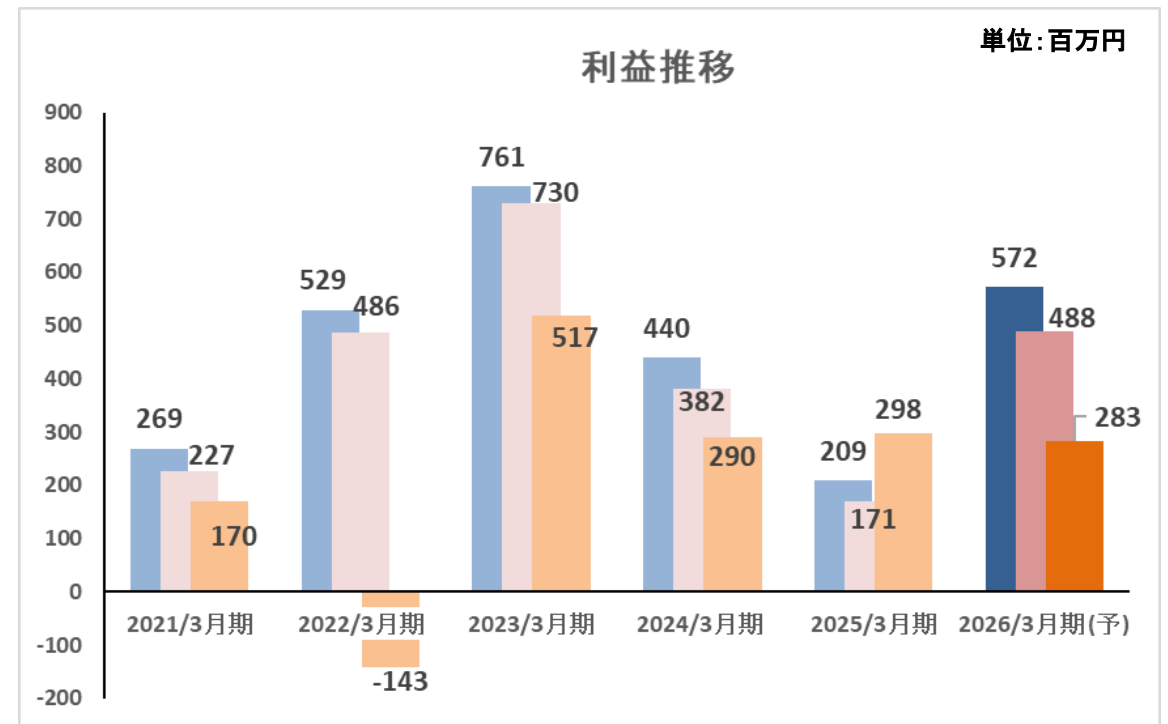
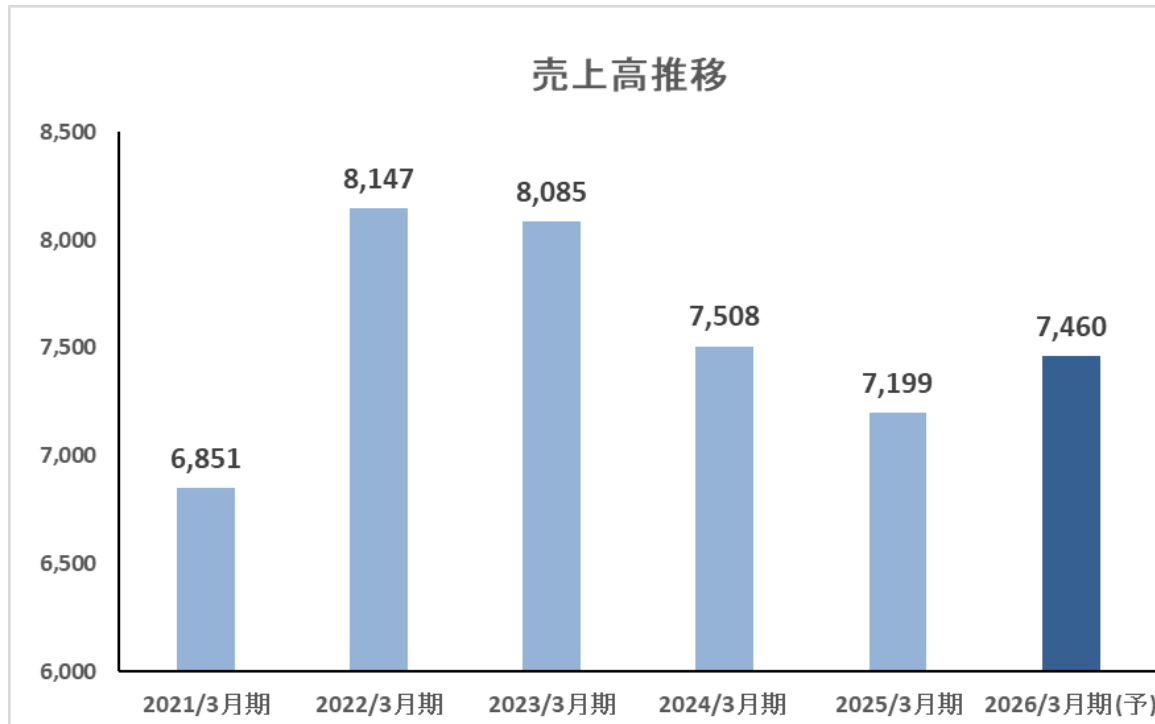
2025年3月期 決算概況

管理本部 本部長

金 原 辰 弥

売上高・利益推移

- 売上高は3期連続減収、2期連続で70億円台、今期(2026年3月期)は4期ぶりの増収で74億円台の見通し
- 営業・経常利益は2期連続減益、最終利益は工場移転関連費用を上回る株式売却益計上により増益
- 今期は工場移転実施に伴う費用が一部最終利益に影響するが、増収増益基調で推移する見通し



■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

2025年3月期 業績の概況

- 主力事業である精密機器事業の減収とSP事業の停滞が影響し、全体で前期比4.1%の減収
- 部材価格上昇や待遇改善による労務費増加の影響を生産効率化と販売価格適正化等で吸収に努めるも、工場再編に伴う一時的費用増も影響し、原価率は前期と比べて2.7%上昇
- 原価率上昇の影響が大きく、営業利益及び経常利益はともに前年比で約5割減の大幅減益
- 親会社に帰属する当期純利益は有価証券売却益が工場再編に伴う費用を上回り、2.9%の増益

〔単位:百万円〕

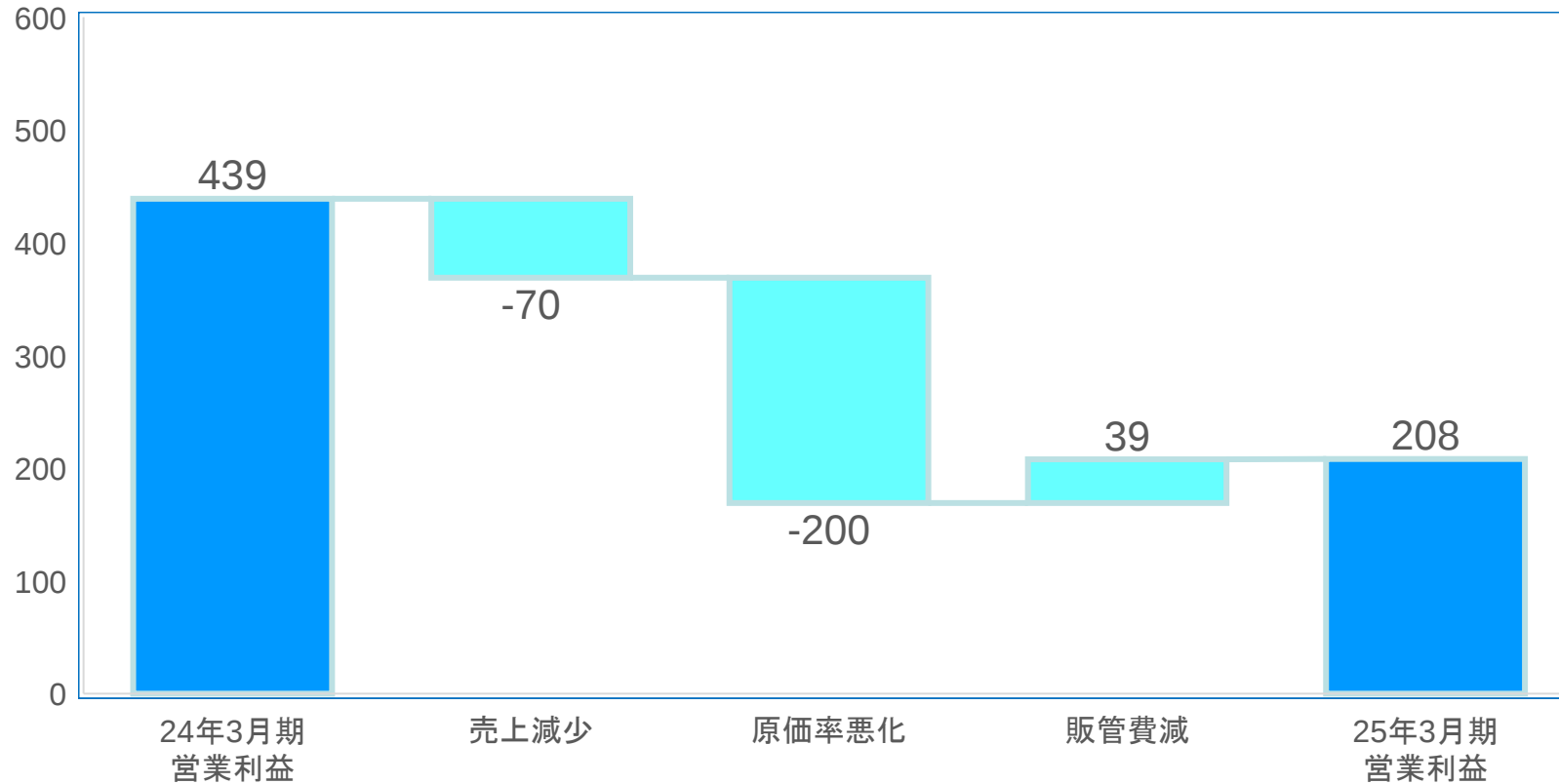
	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期			
	金額	対売上高比率	金額	対売上高比率	金額	対売上高比率	計画比増減率	前年比増減率
売上高	8,085	100.0%	7,508	100.0%	7,198	100.0%	-11.1%	-4.1%
売上総利益	2,020	25.0%	1,797	23.9%	1,597	21.2%	-	-15.0%
営業利益	760	9.4%	439	5.9%	208	2.9%	-61.4%	-52.6%
経常利益	730	9.0%	382	5.1%	170	2.4%	-66.5%	-55.3%
当期純利益	517	6.4%	289	3.9%	298	4.1%	2.8%	2.9%

計画比: 2025年5月15日発表「通期業績予想」比

2025年3月期営業利益増減(前年度差)

- ・売上減に伴う営業利益減 $\Delta 70$ 百万円
 - ・原価率変動に伴う営業利益増減 $\Delta 200$ 百万円
 - ・販管費減に伴う営業利益増 $+39$ 百万円
- により231百万円の営業利益減少

単位: 百万円

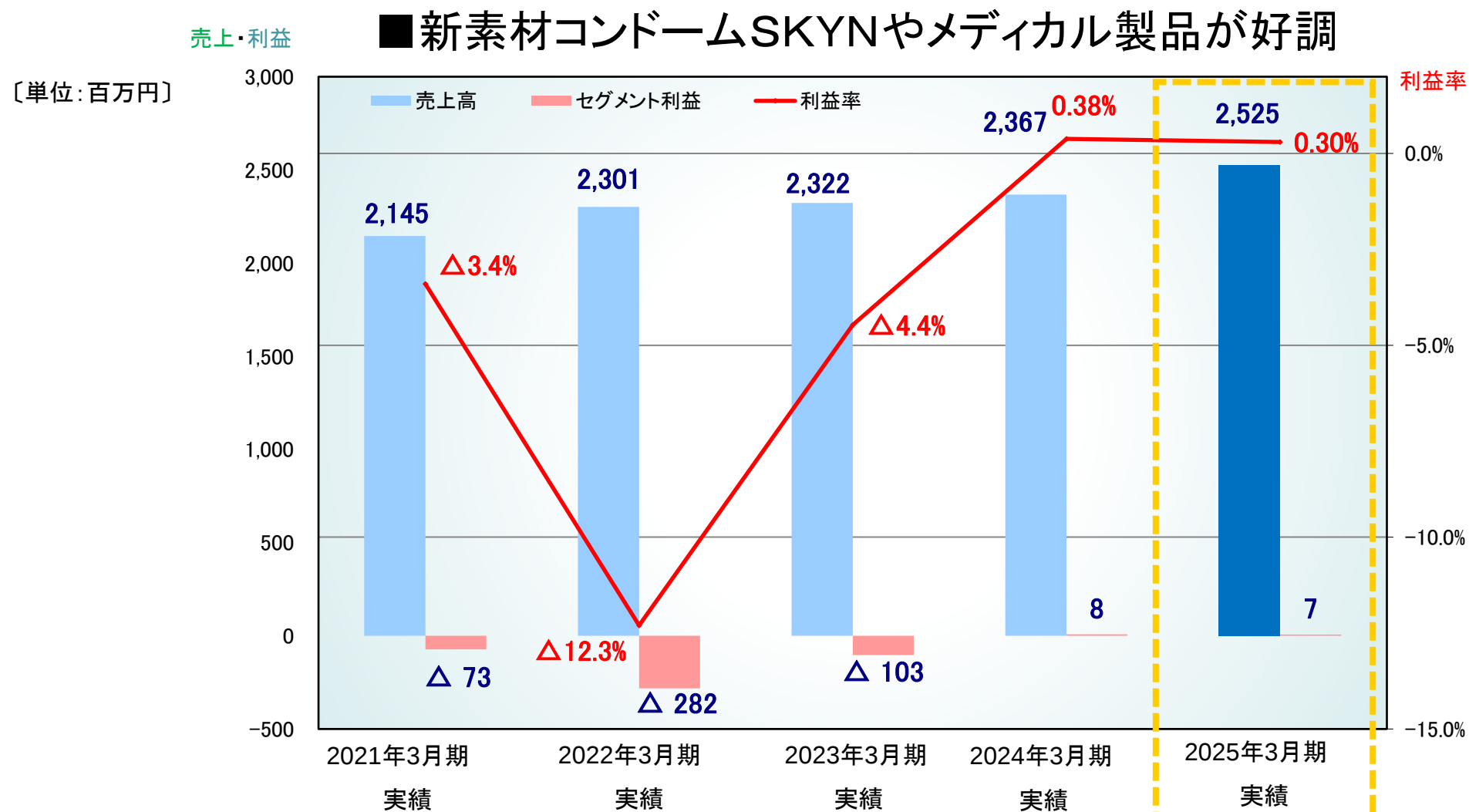


事業セグメント別 売上高・セグメント利益

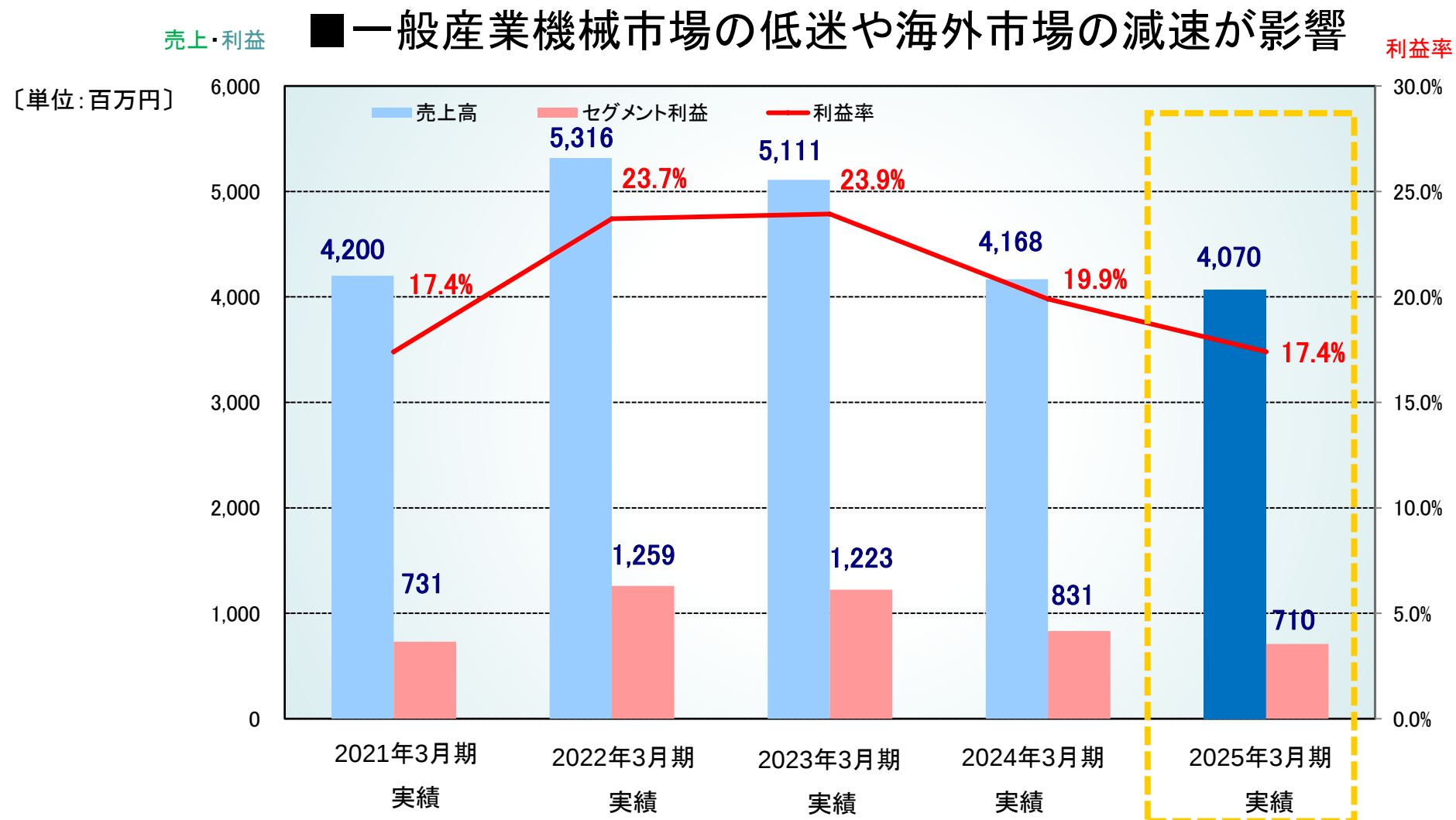
〔単位：百万円〕

事業セグメント		2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	前期比 増減
医療機器事業	売上高	2,322	2,367	2,525	158
	セグメント利益	△103	8	7	-1
精密機器事業	売上高	5,111	4,168	4,070	-98
	セグメント利益	1,223	831	710	-121
SP事業	売上高	414	735	389	-345
	セグメント利益	16	36	△22	-59
食品容器事業	売上高	237	236	212	-24
	セグメント利益	69	29	△31	-61
連結合計	売上高	8,085	7,508	7,198	-309
	セグメント利益	760	439	663	-242

医療機器事業 売上高・セグメント利益

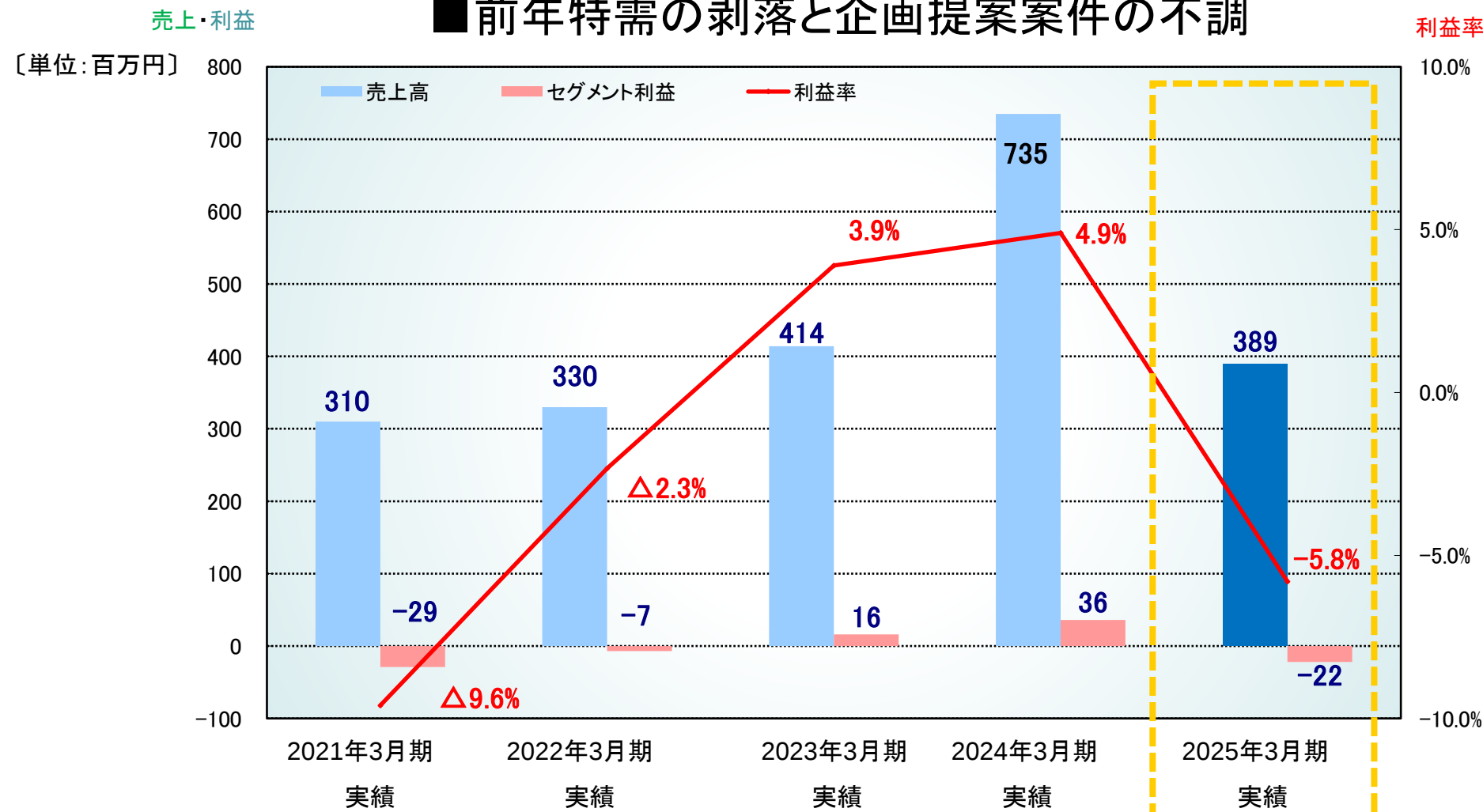


精密機器事業 売上高・セグメント利益



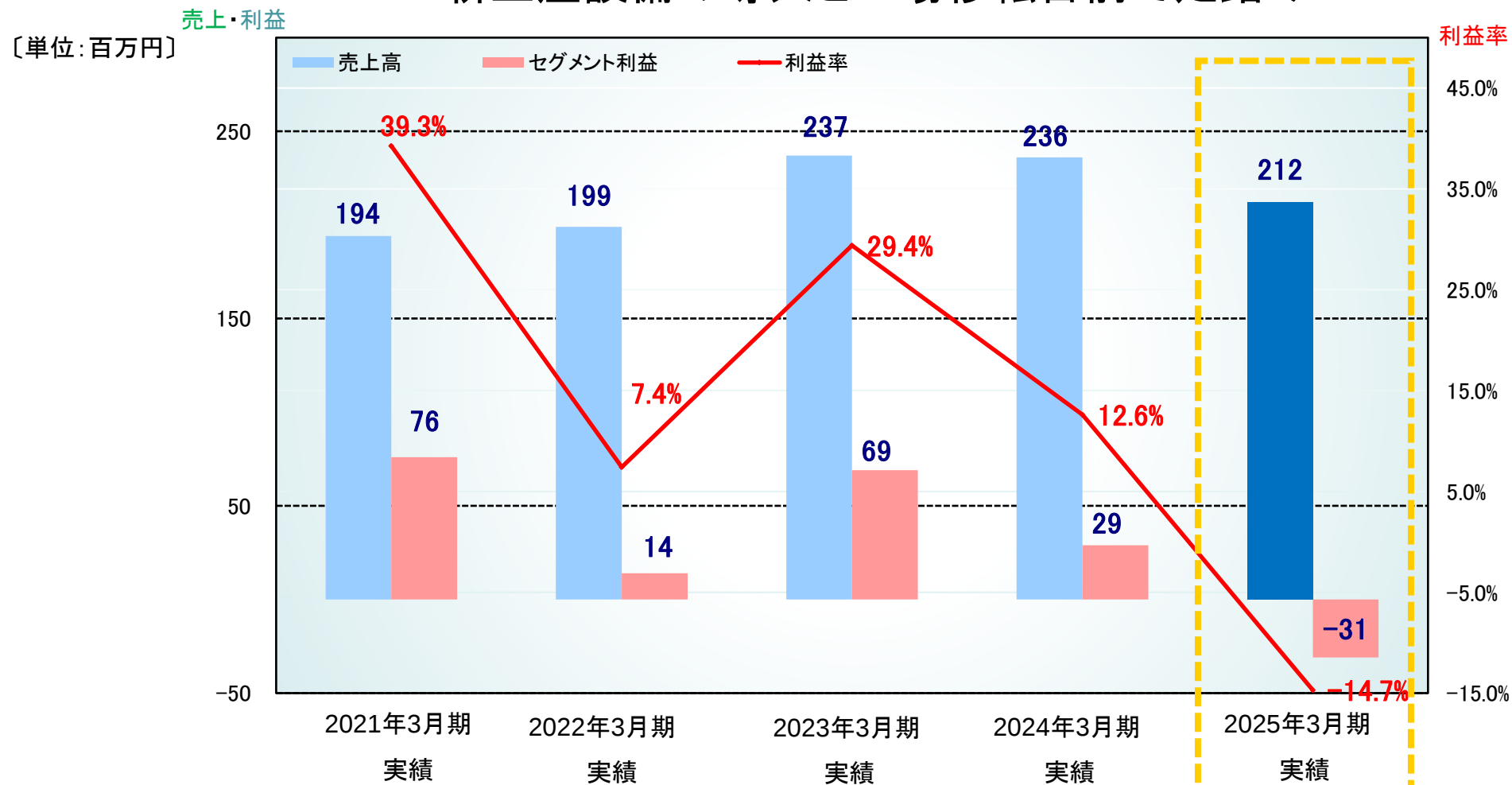
SP事業 売上高・セグメント利益

■ 前年特需の剥落と企画提案案件の不調



食品容器事業 売上高・セグメント利益

■ 新生産設備の導入と工場移転目前で足踏み



2025年3月期 連結貸借対照表

- 在庫減少、固定資産の減価償却等、投資有価証券売却により総資産は2.4%減少
- 最終利益の増加等により純資産が5.5%増加し、自己資本比率は2.7%上昇

〔単位:百万円〕	23/3	24/3	25/3	24/3比 増 減
流 動 資 産 合 計	6,252	6,318	6,457	139
固 定 資 産 合 計	5,214	5,002	4,594	-407
資 産 合 計	11,474	11,326	11,056	-270
負 債 合 計	7,897	7,469	6,988	-480
純 資 産 合 計	3,576	3,857	4,068	210
負 債 純 資 産 合 計	11,474	11,326	11,056	-270
自 己 資 本 比 率	31.2%	34.1%	36.8%	+2.7%

2025年3月期キャッシュ・フローの状況

- 利益増、棚卸資産の減少、固定資産減少等の影響で、FCFは増加
有利子負債の削減は計画通りに推移

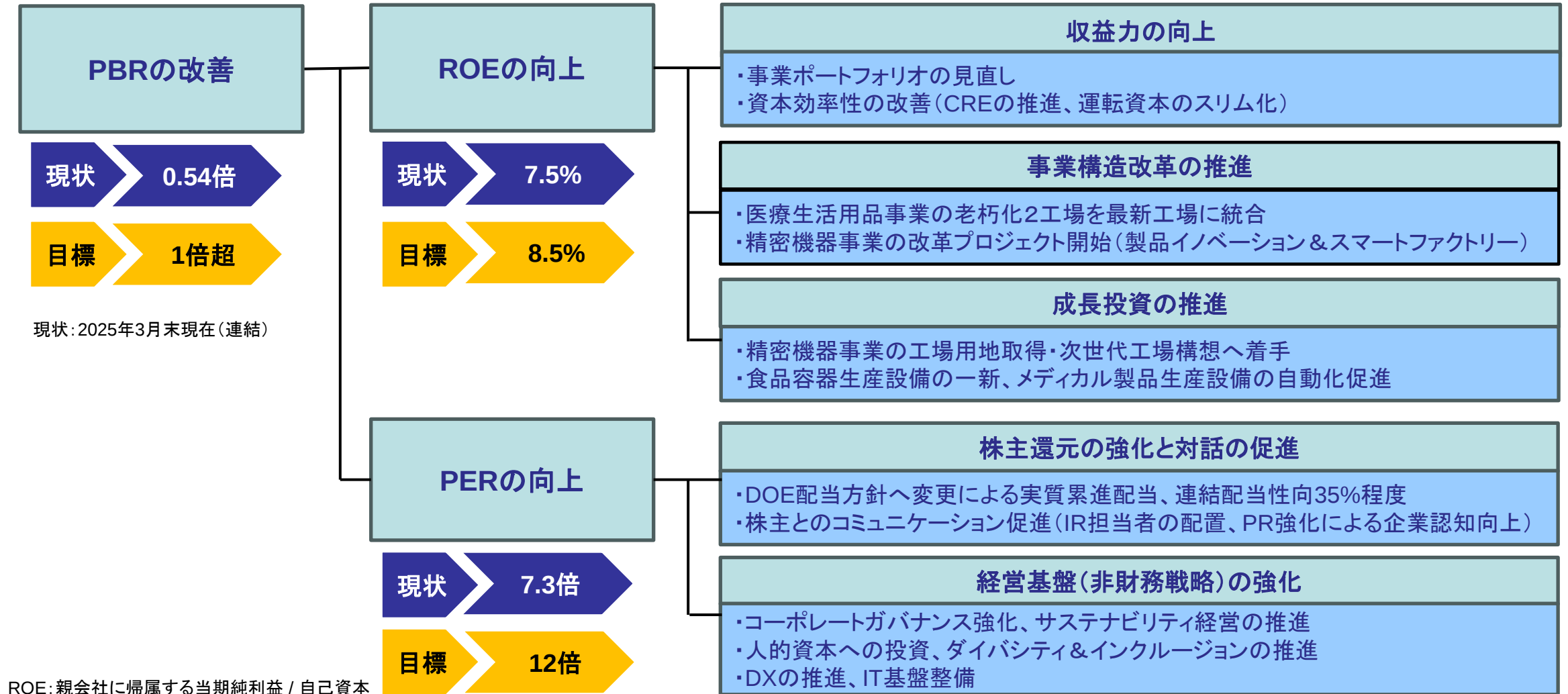
〔単位:百万円〕	23/3	24/3	25/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	771	210	633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75	△122	277
フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	696	88	910
財務活動によるキャッシュ・フロー	△675	△346	△282
現金及び現金同等物期末残高	1,608	1,365	2,004

主な指標推移

〔単位:百万円〕

指 標	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3 (計画)
設備投資額	80	142	79	111	223	550
減価償却費	476	470	352	313	286	330
研究開発費	211	206	195	194	172	200
有利子負債	7,274	6,371	5,755	5,498	5,305	5,500
従業員数 (パート含) 〔人〕	361	357	348	346	308	310

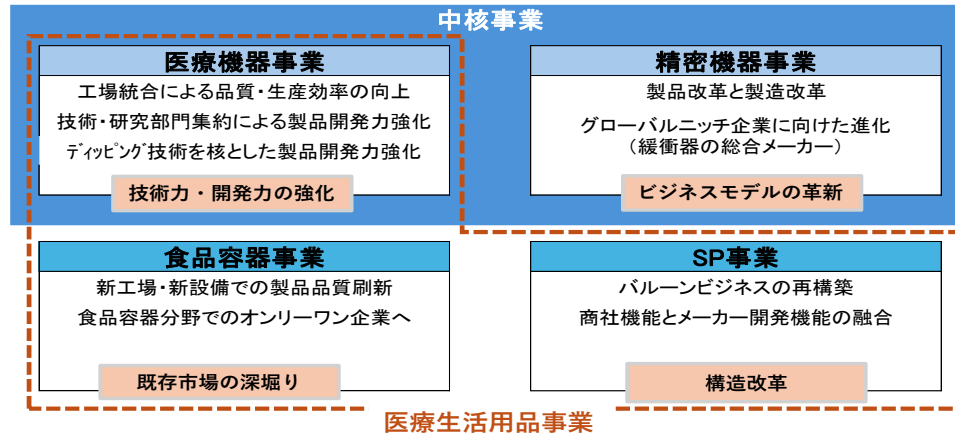
資本コストや株価を意識した経営の実現について



資本コストや株価を意識した経営施策の取組み状況

収益力の向上

■事業ポートフォリオの考え方



事業構造改革

- コンドーム製造事業の停止、栃木、真岡両工場の集約化
 - ・両工場を栃木千塚工場へ集約（上半期）
 - ・3工場＋研究開発部の技術部隊集約化による研究開発力強化
- 精密機器事業の新工場用地取得に伴う改革プロジェクト開始
 - ・製品イノベーションPJTとスマートファクトリーPJT

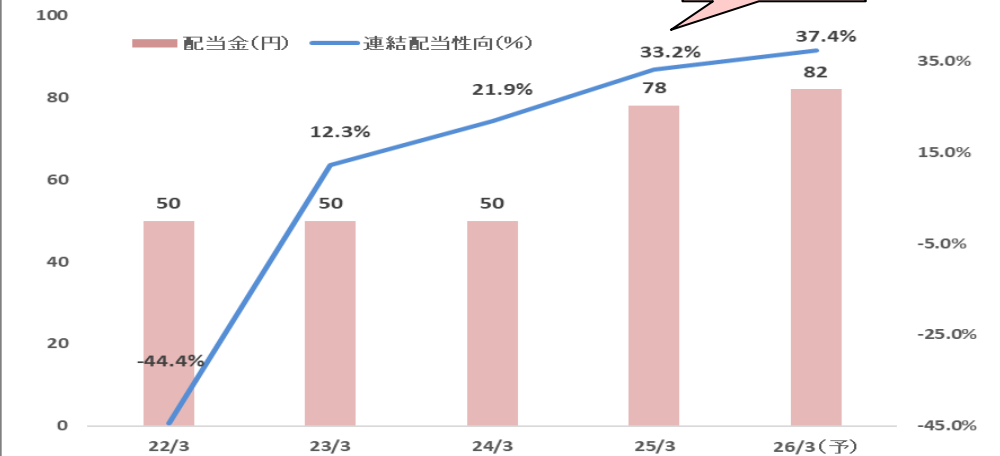
成長投資

- 精密機器事業の工場隣地を取得（4月済）
- 食品容器事業生産設備の刷新（上半期）
- メディカル製品生産設備の自働化
- 人材関連投資、研究開発投資、DX推進による生産性向上

株主還元強化と対話の促進

■配当方針の変更実施（DOE2.8%以上）

■IR担当者の配置（4月）



経営基盤の強化

■ダイバーシティ推進強化

- ・女性社外取締役就任（6月予定）
 - ・女性幹部社員登用（4月任命済）
 - ・役職者※女性比率引上げ6.6%→15%（2029年3月期目処）
- ※役職者：課長・係長/課長補佐階層

■DXの推進

- ・DX認定の取得（今年度中の取得を目指す）
- ・デジタルガバナンス・コードへの対応・DX推進＝改革の柱
- ・スマートファクトリー構想との連動～次世代のモノ作りへ
- ・既存ビジネスモデル、社内システム等をDXで再構築

2026年3月期 計画と経営戦略

代表取締役社長
近 藤 安 弘

今後の経営計画

基本方針：事業成長性の追求

ものづくりを極め、各事業分野でオンリーワンの存在となる

(単位 百万円)

<連結>	2025年3月期			2026年3月期
	計画	実績		計画
	金額	金額	達成率	金額
売上高	8,100	7,198	88.9%	7,460
営業利益	540	208	38.6%	572
営業利益率	6.7%	2.9%		7.7%
海外売上高比率	15.0%	13.3%		15.0%

第78期 会社方針(2025年4月～2026年3月)

- A. 精密機器と医療生活用品を基軸とした
ものづくり力と収益力の強化
- B. SDGsへの対応
- C. 人材育成とデジタル化の推進

売上計画 : 7,460百万円

営業利益 : 572百万円

医療生活用品とは
・医療機器事業
・SP事業
・食品容器事業
の3つを合わせた用語

2026年3月期業績見通し（連結）

（単位 百万円）

<連結>	2026年3月期 計画						
	合計			上期		下期	
	金額	売上高割合	対前年増減率	金額	売上高割合	金額	売上高割合
売上高	7,460	－	3.6%	3,590	－	3,870	－
営業利益	572	7.7%	174.3%	249	6.9%	323	8.3%
経常利益	488	6.5%	185.5%	210	5.8%	278	7.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	283	3.8%	－5.1%	96	2.7%	187	4.8%

セグメント別実績・計画（連結）

〔単位：百万円、％〕

< 連結 >	売上高				セグメント利益			
	2025年3月期	2026年3月期			2025年3月期	2026年3月期		
	実績	計画	前年比増減	増減率	実績	計画	前年比増減	増減率
医療機器	2,525	2,470	-55	-2.2%	7	117	109	1449.9%
精密機器	4,070	4,470	399	9.8%	710	927	216	30.5%
S P	389	270	-119	-30.8%	-22	0	22	—
食品容器	212	250	37	17.9%	-31	-18	13	—
合 計	7,198	7,460	261	3.6%	208	572	363	174.3%

※セグメント利益の合計には各セグメントに配分していない全社費用を含みます。

医療機器事業 前期実績

- 2024年8月30日に、コンドーム等製造事業の停止と
栃木工場の閉鎖、希望退職者の募集を決定

医療機器事業

(単位：千円)

	2024年3月期 実績
売上高	2,367,054
セグメント利益	8,892
セグメント利益率	0.4%



	2025年3月期 実績
売上高	2,525,880
セグメント利益	7,549
セグメント利益率	0.3%



- コンドーム製造停止による売上減少、生産拠点再編にかかる一時的費用の発生はあったが、新素材コンドームSKYN、及び医療製品の販売好調等により、セグメント利益は黒字を維持。

■ バースコントロール製品群・・・販売好調

- ・SKYNコンドーム : ブランド認知が進み過去最高売上高
- ・体外診断薬 : 店頭導入が進み過去最高売上高
- ・社内製造コンドーム : 販売減少



■ 冷却商材・・・販売苦戦

- ・冷却枕 : 想定以上の猛暑により売上減



■ メディカル製品群・・・売上高過去最高更新

- ・IRゴム製プローブカバー(天然ゴムアレルギーフリー対応品)
: 病院での採用数増加、販売好調



医療機器事業の戦略

医療生活用品工場統合

〈栃木工場〉



老朽化により**廃止予定**
(コンドーム生産終了)

統合

〈栃木千塚工場〉



(メディカル製品を生産中)

〈真岡工場〉



老朽化により**廃止予定**
(食品容器を生産中)

統合

＜医療生活用品工場統合によるメリット＞

- 組織統合による、経費削減と人的資源の最適活用
- 開発拠点の集約化による、技術力と開発力の強化
- 統合工場としてのISO取得による品質と生産効率の向上
- 環境負荷と災害リスクの低減
- 職場環境の改善

■ 高利益製品群のシェア拡大

＜カテゴリ別活動＞

- ・SKYNコンドーム : ブランド認知度の向上とシェア拡大
- ・体外診断薬 : 導入店舗数増によるシェア拡大
- ・プローブカバー : 導入病院数増によるシェア拡大

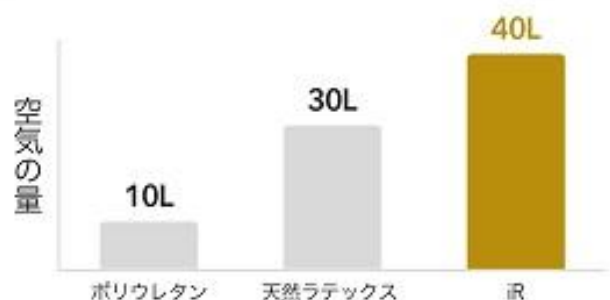
※ 国内販売に注力し活動を推進

SKYN シリーズ

気持ちよさ、いつも以上

SKYN

よく伸びるから
破れにくいのがスゴい！



※不二ラテックス破裂試験データより



9年連続
過去最高売上高
更新中

新やわらか **iR素材** 使用で「ふたりで気持ちいい」

やわらかい 手のひら **SKYN** iR素材 ウレタン タイヤ 硬い

JIS K6253を参考にゴム硬度形タイプAを使用して測定。2013年当社調べ。



<排卵日予測検査薬>

\自宅で簡単検査/
**WO+MAN
CHECK LH**
排卵日予測検査薬
ウー・マン チェック LH



<妊娠検査薬>



過去最高
売上高更新
前年比254%

さるぼぼ
×
WO+MAN
CHECK
ベビ待ちさん
応援コラボ



ひえぶるやわらかまくら

ひえぶるやわらかまくらは高い冷却性能と持続性で
皆様の安眠をしっかりサポートします！



大人から子供まで、幅広い方におすすめです！



経膣用プローブカバー

ポリイソプレン製

ガンマ線滅菌

・管理医療機器クラスⅡ

5年連続
過去最高売上高
更新中



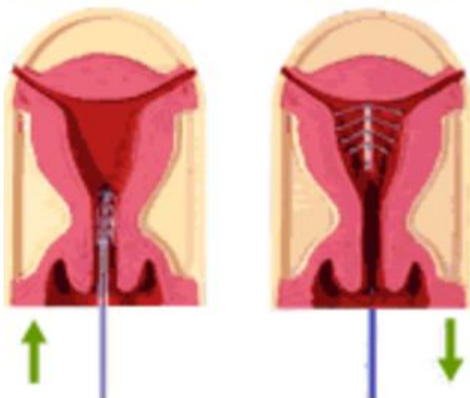
- ・取り出しやすいブリスターパック
- ・天然ゴムアレルギーフリー製品

子宮内避妊用具 FD-1

挿入シュミレーション

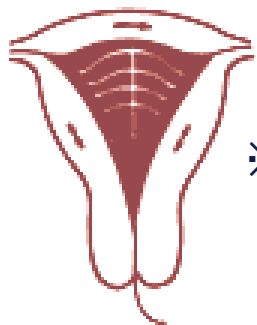
INSERTION

WEARING



子宮の運動とデバイス

Uterine contraction and FD-1



※子宮内に留置する事によって
受精卵が着床せず、
避妊効果を得る事が出来る。



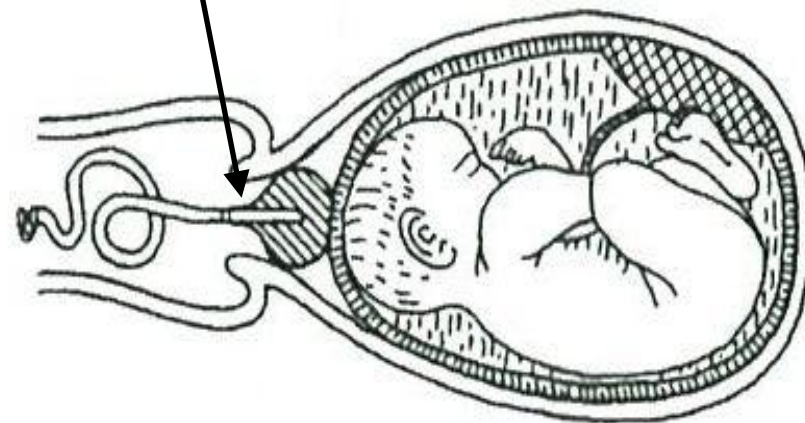
- ・EVA製品;ガンマ線滅菌品(単回使用)
- ・管理医療機器クラスⅢ
(高度管理医療機器)

子宮頸管拡張器

- ・フジメトロ



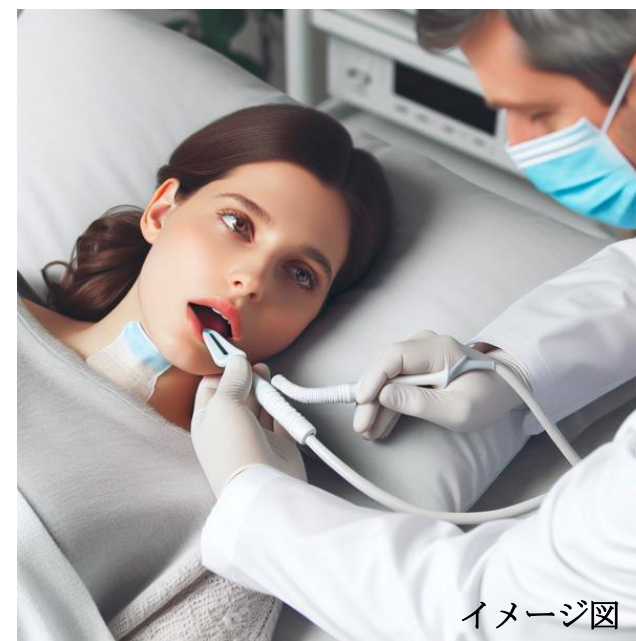
- ・オバタメトロ



- ・天然ゴム製品:ガンマ線滅菌品(単回使用)
- ・一般医療機器クラス I

経食道用プローブカバー

・経食道用プローブカバー



一般名称： 人体開口部用超音波プローブカバー
クラス分類： 管理医療機器 クラスⅡ

精密機器事業 前期実績

- ・海外市場景気減速、取引先在庫調整が受注を圧迫
- ・原材料価格、労務費上昇による原価上昇
- ・中国製シェア拡大による市場価格の下落

精密機器事業

(単位：千円)

	2024年3月期 実績
売上高	4,168,915
セグメント利益	831,259
セグメント利益率	19.9%



	2025年3月期 実績
売上高	4,070,696
セグメント利益	710,205
セグメント利益率	17.4%



- ・売上、セグメント利益ともに低下

■新製品開発の質・量・スピードをアップ

➡製品イノベーションプロジェクトの推進 ➡ 売上の拡大

■新生産方式の確立、工場のスマート化、DXの推進

➡スマートファクトリープロジェクトの推進 ➡ 原価の低減

■販売価格の適性化推進

既存敷地



新規購入済

工場増設計画

- ・新栃木工場の隣地を購入(約12000m²)。
ここを有効活用し、売上・利益拡大を加速。

- 外観ステンレス仕様
- 食品機械用潤滑油採用
- 吸収エネルギー向上
- 耐久性大幅向上



M8 M10 M12 M14 M16 M20

＜更に新モデル発売予定＞

- 高速対応モデル
(FNJ-H)
➡ 高速衝突物に対応
- 耐クーラント仕様モデル
(FNJ-F)
➡ 切削油環境にて使用可能

家具転倒防止器具 不動王シリーズ

Motion Control & Design



双方向コミュニケーションの強化

プライベート展示会の強化

➡各企業の休憩スペースや会議室を借用

<メリット>

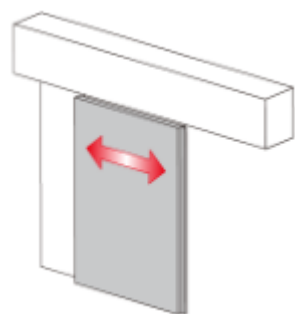
- ・お客様にとって参加しやすい。
- ・設計・現場担当者の方々と会える。
- ・お客様の技術的な課題や悩みを共有しやすい。
- ・実物を使って説明できる。
- ・受注に直結しやすい。
- ・潜在的なニーズを発掘できる。

- ・2025年3月期は
年間110件の展示会を実施



ダンパー使用アプリケーション例

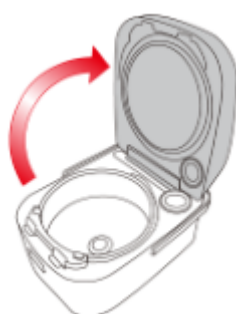
Motion Control & Design



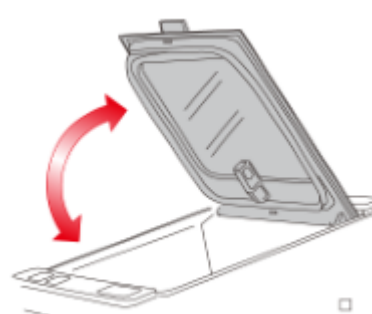
引き戸



開き戸



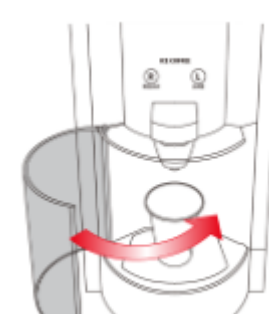
炊飯器



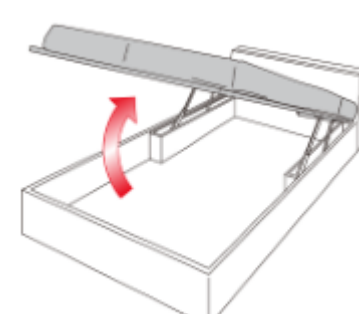
洗濯機



トイレ



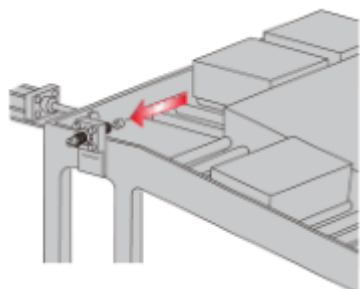
コーヒーメーカー



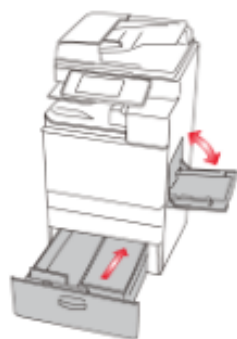
ベッド



取出口ボット



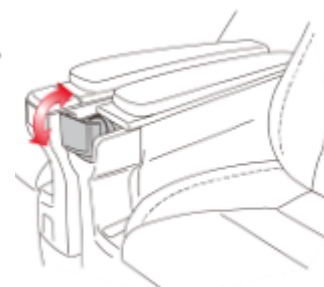
コンベア



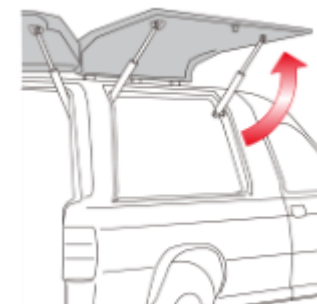
コピー機



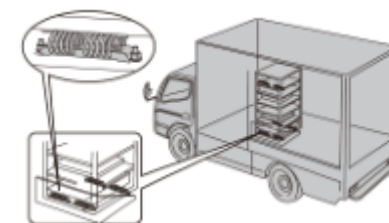
会議テーブル



乗用車カップホルダー



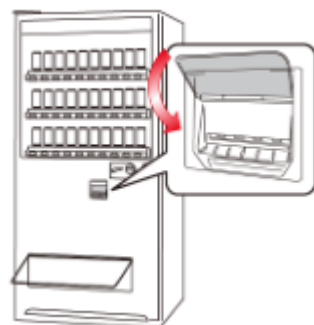
特装車開閉部



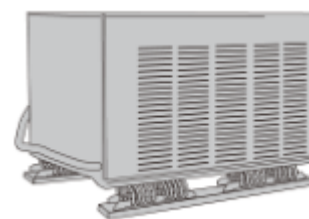
特装車荷台



ショーケース

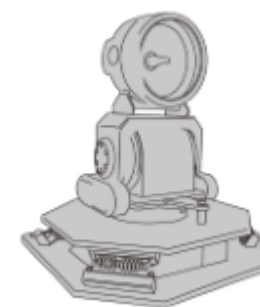


自販機

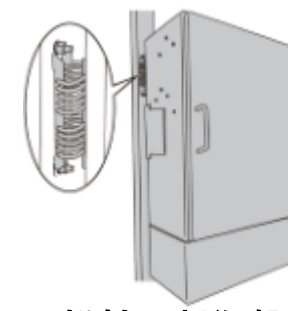


発電機

不二ラテックス株式会社



巡視船投光器



船舶の制御盤

SP事業

■現状

・企画商品提案件数が低下

S P 事業

(単位：千円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 計画
売上高	735,208	389,958	270,000
セグメント利益	36,285	-22,796	0
セグメント利益率	4.9%	-5.8%	0.0%



■戦略

- ・テーマパーク向けと小売店向け新商品提案の推進
- ・組織再編、ビジネス見直しによる強化

食品容器事業

■現状

- ・主要販売先の販売戦略変更により受注減少
- ・原材料、エネルギー価格の高騰が利益を圧迫

食品容器事業 (単位：千円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 計画
売上高	236,937	212,022	250,000
セグメント利益	29,870	-31,185	-18,000
セグメント利益率	12.6%	-14.7%	-7.2%



■戦略

- ・生産工場の移転
- ・充填食品のバリエーション拡大

目標とする経営指標(連結)

財務指標	2023/3 実績	2024/3 実績	2025/3 実績	2026/3 計画
自己資本比率	31.2%	34.1%	36.8%	37%台
ROE (自己資本当期純利益率)	15.5%	7.8%	7.5%	7.5%
ROA (総資産当期純利益率)	4.4%	2.5%	2.7%	2.6%
ROA (総資産経常利益率)	6.3%	3.4%	1.5%	4.4%

IR担当窓口

連絡先： 不二ラテックス株式会社

社長室 IR広報課 大嶋 裕二

Tel 03-3259-2503

Mail ir-pr@fujilatex.co.jp



このプレゼンテーション資料は、2025年6月6日現在、弊社が入手可能な情報と独自の予測・判断に基づいて作成したものです。従いまして確実性を保証するものではなく、弊社を取巻く事業環境の変化によっては将来見通しに差異が生じる場合がございます。以上ご理解いただきますようお願い申し上げます。